

つながり の希薄な時代に、 つながりを つくる教育を。 広島市立大学



世代をこえて“木”がつなく——
広島市立大学×ソアン
「つなぐ関係」プロジェクト

社会のつながりが希薄になりつつある今、広島市立大学とソアンが協働し、世代や立場をこえてつながる体験の場をつくるプロジェクトを実施しました。その名も「つなぐ関係」プロジェクト。テーマは「自ら挑戦し成長を遂げ、共に支え合う精神を養う」。中学生50名と市立大学生10名が参加し、11月9日、広島三育学院中学校の体育館で大規模な木材ドミノに挑戦しました。このプロジェクトはソアン実行員がオンラインで大学生とミーティングを重ね、企画実行までを担当しました。広島市立大学とは昨年に続き2回目の協働プロジェクトとなりました。

木が、めぐる。
思いが、めぐる。
そして、人がつながる。

今回のドミノはただの遊びではありません。木材は地域の社会福祉法人「みどりの町」の木工作業所が、ロス木材を活用して制作したもの。中学生は大学生のリードでワークショップとドミノ倒しを体験。そして使用後の木材は、大和こども園や「みどりの町」へ寄贈され、交流の時間へとつながっていきます。一木材が地域をめぐり、人をつなぎ直す循環へ。ソアンは今回、この流れをトータルコーディネートし、“失われた木が、再び人と人をつなぐ物語”を地域に生み出しました。

×
ソ
ア
ン

2025
11.9
SUN

木がめぐれば、
人がつながる。

「つなぐ関係」
から始まる
循環共創プロジェクト。



2025
11.14
FRI

地域循環型社会をめざすソアンの挑戦は、今年も新しい一歩を踏み出します。

教育的な価値も大きく、探究的な学び、非認知能力の育成、
地域とのリアルな関係づくり、循環型社会への理解など、
ソアンが大切にしてきた「語れる体験」を総合的に育む場となります。

このモデルを基点に、他の学校や地域にも広がる
「つながる循環教育」のスタンダード化も視野に入れています。



ソアンは自ら考え、自ら行動する

圧倒的な思考力と、圧倒的な行動力。「生きる力」を身につけるソアン活動。

社会体験型教育プログラムです

11月は16のソアンを行いました！

11月の広島ソアン



【地域貢献】

地域のお祭りに参加し、パルーンアートブースのお手伝いや、地域のブースのお手伝いなど様々な形で関わることができました。



【ソアン授業】

ソアンパートナーズとして関わってくださっている地域支援員の方に、学校施設の環境から「いのちの大切さ」までを体験を通してお話をいただきました。



【地域貢献】

高校生が放課後に地域のこども園でボランティア活動を行いました。継続した取り組みから信頼関係も構築されてきています。



【職業探索】

休日に希望者で広島市内のアイススケートに出かけ、地域探索を楽しみました。



【寺子屋プロジェクト】

地域のお寺をお借りし、高校生が放課後に地域の小学生を対象に勉強や読書を見守り、サポートするプロジェクトを定期的に実施しています。



【地域貢献】

ソアンパートナーズでもあるスマイルラボにて、りんごの収穫をお手伝いさせていただきました。収穫したりんごは全校生徒で美味しく食べました。



【キッズあきんど】

チームプロジェクトである「キッズあきんど」の振り返り会として、参加して下さった県内の小学生と一緒に振り返り、お別れ会を行いました。



【フードドライブ】

三原市福祉協議会ボランティアセンターと協力し、不定期ですがアジダラン三原店のフードドライブのお手伝いをさせていただいています。



【地域貢献】

ソアンパートナーズでもあるスマイルラボにて、収穫したリンゴを調理しPTAで販売させていただきました。売品金高から販売までを体験することができました。



ソアンプロジェクト お知らせ



ソアン協賛のご案内



SOEN

応援という形で

ソアンに関わる



THANK

ソアンの活動に「応援」という形で関わるソアンパートナーズ制度のご案内です。ソアンでは生徒の「語れる体験」を積み重ねるため、ソアンパートナーズの皆様の協賛金から必要な活動費をさせていただいております。

「応援」という形でソアンに関わっていた方を募集しています。

新しいソアンパートナーズが始まります



協賛申込みフォーム



ソアンパートナーズ(協賛者)限定の公式LINEがリリースされました。2025年以降の協賛者を対象としています。ソアンに「応援」という形で関わりたい方はぜひ以下のフォームにアクセスしてください。

年間3万円以上のソアン協賛でソアンパートナー限定オリジナルTシャツプレゼント！



年間3万円以上で、オリジナルソアンTシャツがもらえる！

体験を、経験に

そして使命へ。沖縄ソアンのチャレンジ。



増田 敦 校長

島田 北斗 教頭



海と空が教室になる場所――

――沖縄三育中学校とソアンの挑戦――

エメラルドグリーンな海と深い森に囲まれた名護市旭川。その高台に建つ沖縄三育中学校は、今年創立七十一周年を迎える。沖縄で最も長い歴史をもつ私立中学校です。キリスト教の教えを土台とした全寮制の学校として、長年「自分で考え、自分で行動する」人を育ててきました。校長の増田敦先生は、初めて沖縄に船で赴任したときのことをこう振り返ります。

「海の色が深い青からエメラルドグリーンに変わっていくのを見たとき、『ああ、すごいところに来たな』と思いました」。

その言葉どおり、キャンパスから見える景色は、日本にいながら海外のスクーラライフを思わせる、開放感のある環境です。一方で、かつての沖縄三育中学校は「キャンパス内で完結する、やや内向きな教育」が中心でした。そこに風を吹き込んだのが、ソーシャル・アントレプレナー・プロジェクト「ソアン」です。

今回のインタビューでは、沖縄三育中学校の増田敦校長と島田北斗教頭に、地域とのつながりや生徒たちの変化を含めた「沖縄ソアンの今」を伺いました。

「内向きの学校」から「地域とつながる学校」へ

沖縄でのソアンは昨年度スタートし、今年で二年目。教頭の島田北斗先生は、その変化をこう語ります。

「案を含め、何でもキャンパスの中で完結できる学校でしたが、ソアンが始まったことで、生徒も先生も地域に目を向けるようになりまし。『地域のニーズに応えよう』という思いが、学校全体に広がってきたと感じています」

その象徴となるのが、地域と協働したプロジェクトの数々です。

・近隣のアップルバナナ農園とのコラボでは、生徒たちがバナナを毎日食べ、学習や健康への影響をデータとして記録・分析し、発表まで行いました。

・「八重岳ベーカーリー」では、黒パンづくりを定期的に体験。焼き上がったパンは全校生徒に振る舞われ、地域の「おいしさ」が学びに変わっています。

さらに近年は、音楽活動でも地域から多くの声がかかり、週末ごとに演奏に出かけるほど。キャンパスの外に出て歌い、奏でる経験が、生徒たちの自信と主体性を育てています。

こうした数々の社会体験の土台にあるのが、沖縄三育中学校独自の「プロジェクト学習」です。

体験で終わらせない――

――「体験を経験に変える」プロジェクト学習――

沖縄三育中学校には、生徒が主体的に動くための仕組みとして、次の四つのプロジェクト学習が用意されています。

- 一、PMプロジェクト (Planning & Management)
- 二、ミッションプロジェクト
- 三、夢プロジェクト
- 四、探究学習

いずれも共通して大切にしているのは、「体験を経験に変える」プロセスです。

- ①企画する（自分たちで計画を立てる）
- ②運営する（実際にやってみる・体験する）
- ③振り返る（内省し、ことばにする）
- ④文章化・可視化する（レポート等で残す）
- ⑤発表する（プレゼンで伝える）

増田先生は、この「振り返り・文章化・発表」の三ステップこそが、体験を「やって終わり」にしないための仕掛けだと語ります。

ここにソアンのプロジェクトも果せることで、学校全体として「語れる体験」が積み上がっていきます。

海と空が教室になる
――沖縄ソアン――

すべてが
学びに変わる場所

「学力(テストで測れる力)だけでなく、社会に出たときに問われるのは、粘り強さやコミュニケーション、リーダーシップといった、非認知能力です。私たちが行っている教育が、そこにどう寄与しているのかをデータで確かめることは、とても大切だと感じています」と増田先生は話します。

・ コミュニケーション能力
などを測定したところ、特にリーダーシップと協調性に有意な向上が見られたそうです。他の項目も小さな伸びが確認されており、「体験→振り返り→発表」という学習モデルが、非認知能力の育成に確かな効果を持つ可能性が示されました。

・ 学力(テストで測れる力)だけでなく、社会に出たときに問われるのは、粘り強さやコミュニケーション、リーダーシップといった、非認知能力です。私たちが行っている教育が、そこにどう寄与しているのかをデータで確かめることは、とても大切だと感じています」と増田先生は話します。

自然体験は非認知能力を伸ばすのか？
データで見えた変化



「神に仕え、人に仕え、自分に奉仕する」
人を育てる

三育教育の使命は、「神に仕え、人に仕え、自分に奉仕する人物の育成」。

その使命を果たすために、沖縄三育中学校は、

- ・ 自ら考え
- ・ 自ら行動し
- ・ 他者の必要に気づき、応えようとする

そんな生徒たちを育てようとしています。

ソアンは、まさにそのための実践の場です。

キャンパスを飛び出し、地域の人々とながら、課題に向き合い、プロジェクトをやり遂げる。その一つひとつのプロセスが、生徒たちの「語れる体験」となり、やがて社会を動かす力へと育っていきます。

海と空に抱かれたこの小さな全寮制の学校から、世界に向かって踏み出していく中高生たち。沖縄ソアンの挑戦は、これからも続きます。



【地域音楽活動】
グランドメルキール沖縄城辺リゾートのクリスマスツリー点灯式に、ハンドベルと楽器アンサンブルが招待され演奏を行いました。素晴らしい演奏の会場で演奏する、素晴らしい機会が与えられ貴重な経験となりました。

【地域貢献】
日頃からお世話になっているシーワーカー一画、収穫の時期を迎え、希望者で手伝いに行きました。貴重な体験をすることができました。

【地域貢献】
生徒達は地域の公園でのゴミ拾いやビーチクリーンを定期的に行っています。今後も継続していきます。

【地域貢献】
マルエスファームさんでお手伝いさせていただきました。バナナの木は水分が多く含まれていて、葉手につくとネバネバしていますが、葉っぱの集まりのため切りやすく予定よりも早く作業を終えることができました。



【地域音楽活動】
今年もやんばるゴスペルフェスティバルへ聖歌隊・楽器アンサンブル・男性コーラスが出演しました。地域の皆様と楽しいひと時を過ごせました。

【地域音楽活動】
鹿野川七色にじまつりに今年も出演しました。音楽を通して地域と繋がる機会が与えられ、感謝です。

【職業体験】
実習教育の一環として自動車部のメンバーで本校の卒業生から洗車について学ぶ機会が与えられました。緊張感ある研修を受けた後、実際に車両をプロの道具をお借りして洗車いたしました。

【地域探索】
隣接する老人福祉施設シャローム名護でシーワーカーの収穫のお手伝いを行いました。今後も様々な形で関わらせて頂きます。

確実に「自ら機会を作り出せる」生徒が育っています。



ソアンパートナーズ 協賛・協力企業等一覧



ソアンを 応援する

協賛金: **2,245,033円**

※6月現在

ソアンプロジェクトにご協賛・ご協力いただきありがとうございます。

一般社団法人サムワン基金 おんおくり奨学金

次世代へ「より良い社会を受け継いでいく」という願いを込めて。

「社会貢献を喜びとする」人物を日播す人にぜひ受け取っていただきたい。

これまでにない全く新しい奨学金の制度です。

「未来への恩返し」誰かのために異変を求めず働くことを通して「社会の奉仕者になることを希望する」

高校生とその保護者に対し、その意思と姿勢を評価し給付する奨学金です。将来、社会人になった時に

「誰かのために働くこと」「社会に奉仕すること」が当たり前になる人物を育成します。



公式HP

医療法人社団 飛翔会 寛田 司 様

医療法人社団 飛翔会の理事長の寛田司です。私は広島三育学院の前身の日本三育学院の卒業生で、

子供達三人は広島三育学院卒業生です。当法人にも二名の卒業生がいます。当法人は、整形外科・

内科医に頼らず、プロスポーツチームのケアの経験を通して、スポーツ障害・外傷までを対象として、診療から検査、リハビリテーションまで一貫したシステムで診

療を行っています。スポーツ医学の経験を一貫治療に活かし、「運動」を用いた予防医療、生活習慣病治療を日々実践しています。また、アスリートに対しては、スポー

ツ種別やその動作を考慮して、筋力、柔軟性、バランスを含めたコンディショニングも行い、早期競技復帰をサポートしています。



飛翔会グループ

広島三育学院後援会

後援会は、卒業生、保護者と信託による広島三育学院の応援団です。今の時代に必要で広島三育学院の教育を様々な形で応援します。

sakai family fund

ミツケサロン代表

第三回卒業生 坂井 等 様

"Let's start giving."

"なえることから始めよう"



株式会社スマイルアグリ(SMILE-LABO HIROSHIMA)

画を通じて、一人一人の笑顔が広がる豊かな未来を創造し「笑顔」が絶えない地域社会を築くための研究所。社員一人一人が研究者であり、笑顔が生まれるために必

要なもの。笑顔絶やさない持続性。笑顔がもたらぬ未来を築き上げて大和町、三原市、広島県から世界へ、笑顔と共に事業展開と社会貢献に邁進します。

株式会社とまはうすコーポレーション 吉岡 康仁 様

広島県三原市大和町で17代目の米穀家としております。米穀業、米穀業を中心とした食糧しながら、お隣の主権もしております。広島県三原市大和町より、皆様を必

願しております。

社会福祉法人みどりの町(Greentown Peace Project)

わたしたちは、誰がいのある・なしにかかわらず、自分らしく、楽しく、心が豊かで平和な暮らしが持続できる地域共生社会の実現を目指す社会福祉法人です。

ソアンパートナーズ

海老原 行男 様	田中 仁美 様	岸見 大地 様
亀山 晴人 様	箕輪 文子 様	村上 寛 様
下地 英樹 様	森山 元氣 様	藤谷 高子 様
榎岡 俊二 様	中村 希 様	松田 健 様
上田 洋一 様	上田 真子 様	石川 哲也 様

ソアン協賛

申し込みフォーム



株式会社創心万華鏡

三育フーズ株式会社

ソアン「で」支える。ソアン「を」支える。
応援の形はそれぞれの形で。

ソアン「で」支える。ソアン「を」支える。その思いをソアンパートナーという形で広げていきます。